

東海地区コン
クリ圧送組合

飛島木場高架橋で 安全・技術パト

東海地区コンクリート
圧送有限責任事業組合
(長谷川員典理事長)は
16日、愛知県飛島村で建
設中の名古屋第二環状自
動車道飛島木場高架橋
(下部工)工事で、元請
け施工会社が行うコンク
リート打設現場を対象
に、安全・技術パトロー



ルを実施した。写真。
パトロールには同組合
から安全技術委員長の
住井次郎氏ら5人が参
加。同現場で1日約93
0立方メートル打設する3台の
ポンプ車におけるアウト

リガーの設置状況など
安全確保に関わる約20項
目の他、重要な点検項目
を記したステッカーを
貼り付けているかどうか
を確認。さらに、作業手
順書やコンクリートポン
プ車定期自主検査記録
表、資格証などを納めて
各組合員が作業現場に携
帯する組合オリジナルの
「安全バック」を確認し
た。

同組合では月1回のペ
ースで安全・技術パトロ
ールを行っている。